事務事業評価シート　平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

所管課	環境課	担当班	環境政策班

事務事業名	コード	20500	公害対策事務費	予算科目	会計	款	項	目
	②		（新川の浄水と保全）		一般	4	1	5

施策体系						
基本施策	23	良質な環境の保全	根拠法令	環境基本法、水質汚濁防止法		
施策の展開	42	きれいなまちづくりの推進	戦略事業	201	新川の浄化と保全	
施策の展開			戦略事業			

事業種別：☑ 主な事業　☐ 国土強靭化地域計画　☐ 新市建設計画　☐ 定住自立圏構想　☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 ☑ 昭和 44 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 ＿ 年度～ 平成 ＿ 年度まで	日本が高度経済成長期を迎え、それと同時に環境汚染が顕在化し始め、新川についても水質汚濁が顕著に表れるようになった。 そこで河川の水質汚濁をとどめるため、水質浄化を目指し、協議会を立ち上げ河川の水質調査を行うこととなり、現在に至っている。 河川の水質浄化運動の一環として、新川汚染防止対策協議会の事業の事務を行っている。

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
昔はきれいであった新川も生活排水などによって汚染され、県内でも汚い川の部類となってしまった。 そこで、新川の汚染状況を確認するため、新川等河川の水質検査を開始した。	負荷の要因となっている生活排水の流入など、新川の浄化について、市民の関心を高めて行くことが課題となっている。一方、公共下水道や合併浄化槽の促進により、近年の水質については、安定している。	水質浄化に関する要望が多数寄せられている。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（28年度の決算）　単位：千円

1.負担金	867	新川汚染防止対策協議会負担金

② 特定財源の内訳（28年度の決算）　単位：千円

1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

前年度増減理由	

事業費		単位	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）
費目内訳	1. 負担金	千円	867	867	867	867	868
		千円					
		千円					
		千円					
		千円					
事業費計（A）		千円	867	867	867	867	868
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	867	867	867	867	868

従事職員数	常時 1 人	最大 10 人 × 1 日 ＝ 延べ 10 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

28年度実績（28年度に行った主な活動）

新川汚染防止対策協議会事務
河川及び事業所排水水質調査

⇨

③ 活動指標名		単位	25年度（実績）	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（実績）	29年度（計画）
ア	新川汚染対策推進大会（啓発作品応募数）	件	579	586	503	477	540
イ	河川及び事業所排水調査箇所数	箇所	15	15	15	17	17

目的

② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）

対象：生活環境
意図：環境基準に対し状況が把握できる

⇨

④ 成果指標名		単位	25年度（実績）	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（実績）	29年度（計画）
ア	新川及びその支流における水質調査基準超過箇所数 （新川の基準値との比較） （新川の環境基準 BOD：5mg/L　）	箇所	4	9	7	7	4
イ							

(4)事務事業優先度評価の結果

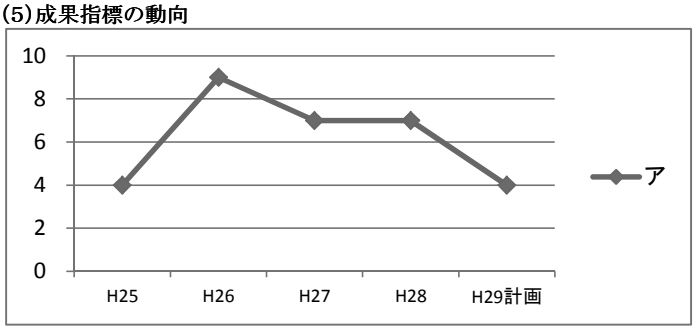
①成果優先度評価結果

施策貢献度＼成果向上余地	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
大きい			
普通		⑤	
小さい			

②コスト削減優先度評価結果

成果優先度＼コスト比率	下位1/3	中位1/3	上位1/3
①			
②③			
④⑤⑥	(4)		
⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

① 進捗状況　☐ 完了　☐ 順調　☑ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】（停滞・未実施・実施困難の場合、その理由）

② 成果の状況

	成果指標のタイプ		数値減＝成果向上			
成果指標ア		↘		☐ 向上	☑ 横ばい	☐ 低下
成果指標イ				☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下

【コメント】（低下の場合、その理由）

成果動向

比較	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	25年度	26年度	27年度	28年度	29計画
ア	△7	5	△2	0	△3
イ					

③ 今年度取組事項（29年度に取り組む主な事項について記載）

時期	内容
例年通り	例年通り

今後の方向性：☐ 拡大　☑ 現状維持　☐ 見直し　☐ 縮小　☐ 廃止・休止　☐ その他（　）

例年通り　例年通り